

四月、原の里は山々が桜色に染まり、道端には菜の花が背伸びでもするかのように咲き、春の訪れを五感で感じることができます。

一昨年度末から始まった新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対応は、未だ終息することがなく、多くの地域行事や学校行事の中止や自粛を余儀なくされています。本校は、多くの活動を地域の方々と共に行っていることもあり、お会いする機会が減っている今、「原小らしさ」をいかに持続するかということとは大きな課題といえます。

しかし、コロナ禍の多くの制限がある中でも子どもたちは日々学び続けています。勇気を出して新しいことに挑戦している姿や友だちと笑い合う姿を見るたびに「できることはまだまだたくさんある」と気づかされます。地域、保護者の方からも「当たり前の大切さが身に染みるね。学校も大変だけど、なんとか乗り切ろうね。」と、折々に温かい声掛けをいただいています。

「子どもたちの学びを止めないために」今後も、工夫をしながら日々の教育活動を実りあるものにしていきたいと思えます。

今年度、本校は、新1年生8名を迎え、全校児童57名でスタートします。

学校教育目標を「夢と希望と輝きをもつ児童の育成」とし、**かんがえる子**・**がんばる子**・**やさしい子**・**きたえる子**をめざす児童像として取り組んでまいります。

また、「原小だからできる 原小でないとできない教育の創造」をキャッチフレーズとして、本校の最大の特徴、強みでもある“地域の方や保護者の方からの温かいご支援、全面的なバックアップをいただける素敵な風土”を大切にしながら、開かれた学校、地域と共に歩む学校をめざしてまいります。

そして今年度も「チーム原小」として教職員一丸となり、「原小で学んでよかった」と皆様に思っただけの学校づくりを進めてまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



令和3年4月

廿日市市立原小学校

校長 池田 賀子